

○仙台・宮城北部森林管理署の「製品生産事業現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和4年9月13日（火）に宮城県川崎町の小屋沢国有林で開催された「令和4年度 製品生産事業現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は晴天のなか、林業関係団体や県担当者、署管内の林業事業体など総勢54名の参加を得て開催され、今回の採材検討会ではスギの採材について検討を行いました。仙台森林管理署長の挨拶後、各地域における販売価格など東北の需要動向に関して青森事務所から説明、続いて、署の担当者から事業概要、スギの一般材、合板材の採材方針等について説明があり、その後、あらかじめ準備された5本のスギについて各所属別に採材方法の検討に入りました。検討結果について、仙台署案を示しつつ、節などの欠点を1本1本確認しながら意見交換が行われました。

青森事務所からは、スギ等針葉樹の一般材、合板材の4m採材の推進や適切な仕訳の徹底と、広葉樹については定尺にこだわらず、節や曲り等の欠点を丁寧に見定め採材仕訳することで、思わぬ高値となるため少量でも低質材にせず、一般材として採材し有利販売するよう説明。併せて、作業日報の電子管理によってボトルネックの解消を行う「生産性向上の取組」に関して協力をお願いしたところです。また、労働災害の防止に努めるよう安全についても説明させていただき、最後に宮城北部森林管理署長から閉会の挨拶で終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



（スギの採材検討）



（仙台署採材案を提示）